

# しぼくち

学校だより 5月号

令和6年4月30日発行

運動会に向けた挑戦～「考える」+「行動する」＝「楽しい」学校生活～

川崎市立子母口小学校

校長 南谷隆行

穏やかな春の気候から、夏を想起させるような暑い日が少しずつ増え始め、学校では、いよいよ運動会に向けた取り組みが始まりました。子ども達は新しいクラス・新しい担任にも少しずつ慣れ、穏やかな表情で伸び伸びと活動する姿が見られます。また、特に嬉しく思うのは、上級生が1年生に優しく接している場面を数多く見かけることです。一緒に手をつないで登校したり、重たい荷物を持ってあげていたりする姿は、学校全体に暖かい雰囲気を作ってくれています。

さて、今年度の運動会ですが、子ども達の思いや願いをより実現できるように、これまでとは少し内容を変更して準備を進めています。保護者の皆様には、戸惑われることもあるかもしれませんが、そのねらいを十分にご理解いただき、ご協力いただければ幸いです。

今年度の運動会は、新しい学校教育目標の『未来社会を切り拓く』を受け、「自分たちで考え、行動する力」を育むことを目指しています。これまでの運動会では、どちらかといえば、教師が主体となって、従来の運動会を参考に競技や演技の内容を決めてきた面がありましたが、今年は各学年の段階に応じて子ども達が自分たちで考えて運動会をつくりあげる場面を増やしています。

具体的には、(これも各学年の段階によって違いはありますが、) 競技や演技の種目選定、練習計画や運動会を盛り上げる活動など、子ども達が主体となって話し合い、決定しています。また、高学年の有志の児童には、「運動会スタッフ」として、教職員と一緒に運動会を陰で支える仕事に参加してもらう計画もあります。そのため、昨年度までは低学年の部(1・2年生)・中学年の部(3・4年生)・高学年の部(5・6年生)と3部制で運動会を実施していましたが、今年度は奇数学年(1・3・5年)と偶数学年(2・4・6年)の2部制に変更しました。5年生・6年生をそれぞれのグループのリーダーとして位置づけ、下級生を励まし、支えながら、“みんなのために考え、行動する”経験を積んでほしいとの願いを込めた変更です。(ご家庭によっては、ご兄妹の関係で観覧・応援等でご負担をおかけしてしまうかもしれませんが、お許しください。)

もちろん、子ども達だけでは難しいことも出てくることでしょう。その際は、教職員が適切なアドバイスを行うなど、段階的に支援してまいります。保護者の皆様におかれましても、子ども達の挑戦を温かく見守り、励ましていただければ幸いです。

本校は、今年度から新しい学校教育目標を掲げ、未来社会を切り拓く力の育成に向けて一步一步歩み始めました。運動会もその取り組みの一環であり、子ども達が自ら考え、行動し、困難を乗り越える力を育む貴重な機会ととらえています。

我々教職員にとっても“初めて”のことが多く、至らない点もあるかもしれませんが、子ども達の成長を第一に考え、教職員一同、精一杯努力してまいります。保護者の皆様ならびに地域の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

## 支援教育コーディネーターが代わりました

これまで支援教育コーディネーター(以下、Co)を務めてきた中村美恵総括教諭から、我妻佳枝総括教諭へバトンタッチしました。今後は、我妻新Coが各種相談の窓口となりますのでどうぞよろしくお願いいたします。なお、これまでの経緯から、中村との相談の継続を希望される方は遠慮なく我妻までお申し出ください。徐々に引き継いでまいります。